

平成21年度事故情報収集調査結果について ～事故調査結果からみえる製品事故動向～

平成22年11月

nite

独立行政法人
製品評価技術基盤機構
製品安全センター

* 事故情報収集件数等については、暫定であり、今後、数値が変わる可能性があります。

I. はじめに

- N I T E (ナイト) とは
- 製品安全業務の実施体制

NITE(ナイト)とは

NITEは「くらしの安全・安心」を支援しています

NITEは、製品事故の公的な原因究明機関です。

製品事故の原因を調査・分析し、経済産業省と連携して製品の改善等のものづくりや製品の回収などの事故防止対策に貢献することを使命としています。

信頼できる技術と情報の提供

製品事故の調査・分析、安全情報の提供

微生物の保存提供、ゲノム解析

バイオテクノロジー分野

微生物のパワーをバイオ産業の発展に活かす

生活安全分野

暮らしの安心を支援。安全・快適さに関する情報を発信

試験・検査機関の信頼性評価

適合性認定分野

市場のグローバル化に対応し、国際ルールによる認定を実施

化学物質管理分野

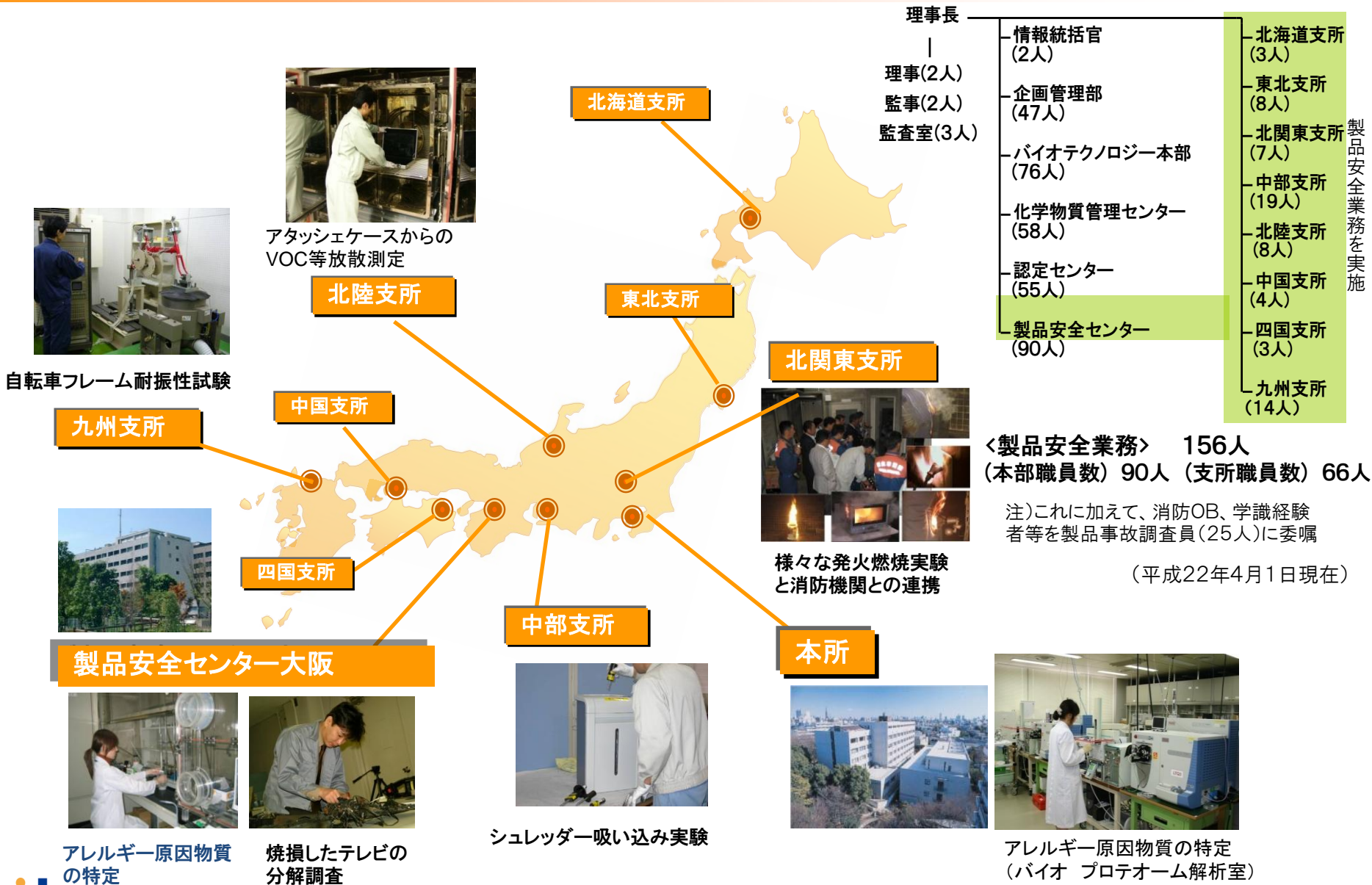
化学物質総合管理の知的基盤整備と技術的支援を行う

化学物質の安全情報の提供

様々な分野の専門知識を有する技術者が結集
全国10か所で各地で発生する事故について消防等と協力して原因究明

nite

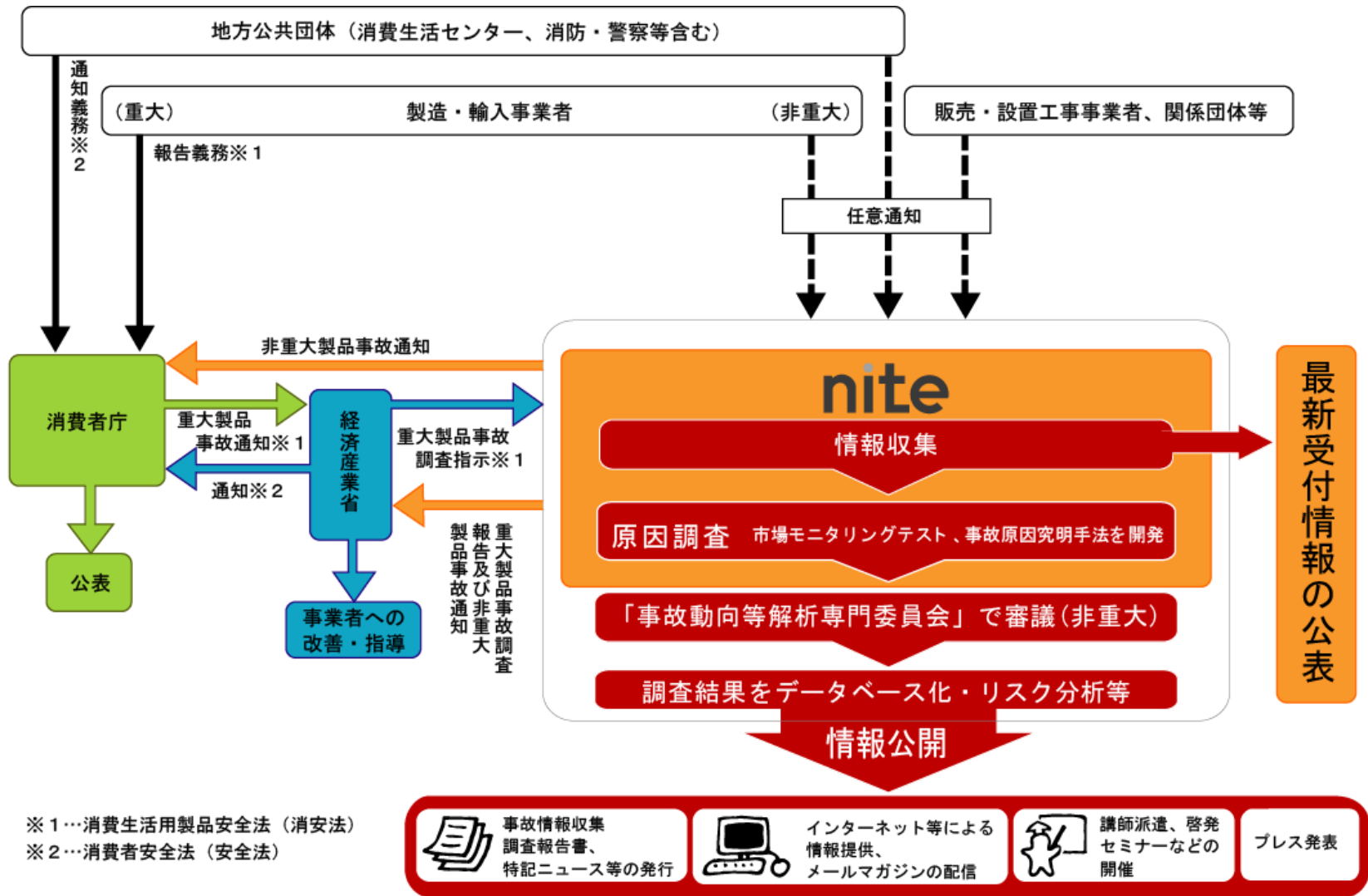
製品安全業務の実施体制



Ⅱ. 平成21年度事故情報収集調査結果

- 事故情報収集制度
- 事故情報収集結果
- 事故情報調査結果
- 社告・リコール情報収集件数

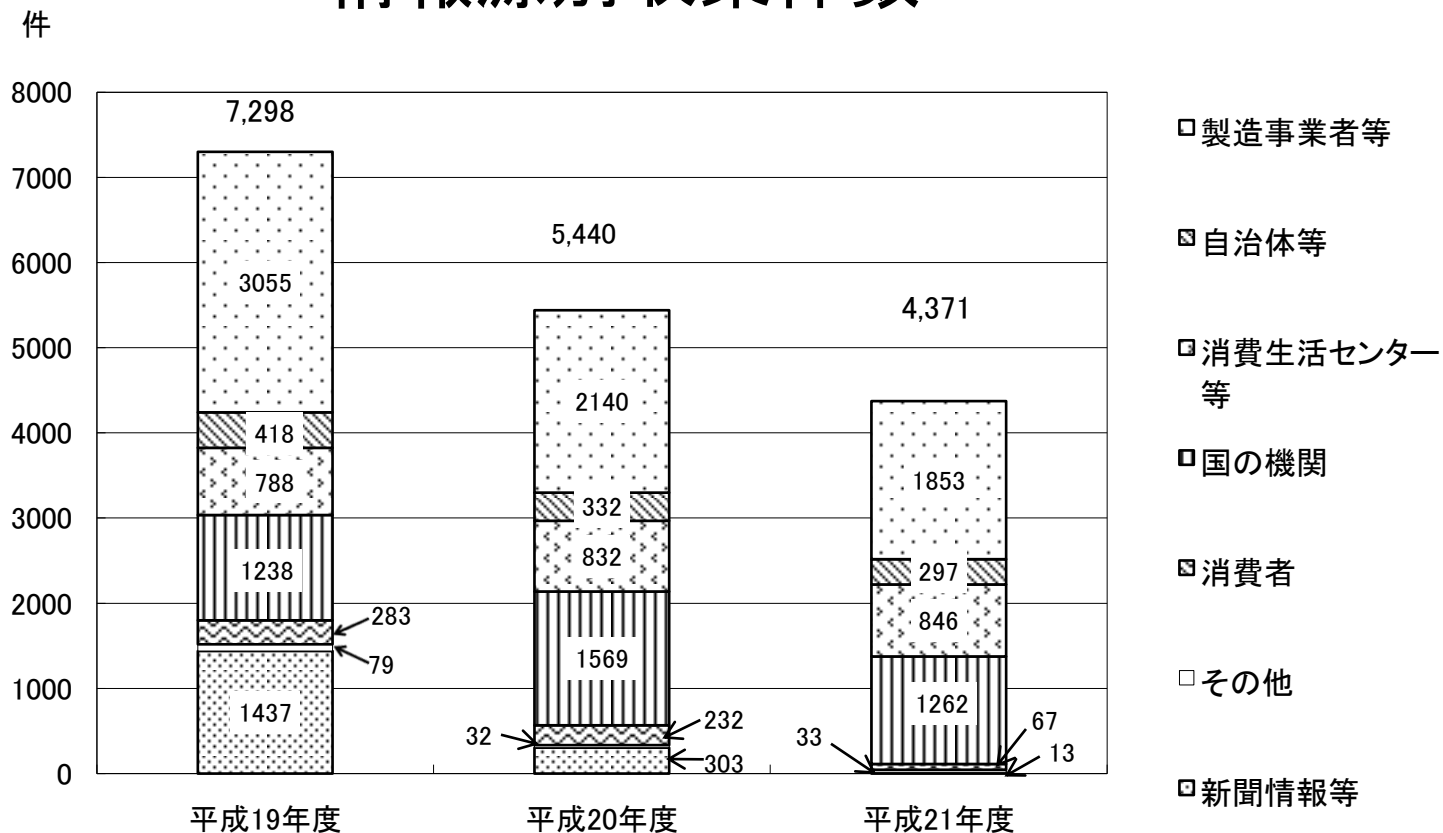
事故情報収集制度



消費生活用製品安全法における重大事故とは、死亡事故のほか、治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病、後遺障害事故、一酸化炭素中毒及び火災事故で、非重大事故はそれ以外の事故です。

平成21年度事故情報収集結果1

情報源別収集件数



* 重複情報、重大製品事故を含みます。

集計：平成22年3月31日現在

平成21年度事故情報収集結果2

製品区分別収集件数

製品区分	平成19年度		平成20年度		平成21年度			
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数 前年比	構成比 増減(※ 内差)
家庭用電気製品	2,382 (535)	40.0%	2,303 (694)	50.2%	2,100 (569)	53.7%	▲ 8.9%	3.5
台所・食卓用品	117 (10)	2.0%	137 (12)	3.0%	160 (7)	4.1%	16.8%	1.1
燃焼器具	1,394 (341)	23.4%	944 (411)	20.6%	716 (375)	18.3%	▲ 24.2%	▲ 2.3
家具・住宅用品	279 (63)	4.7%	326 (80)	7.1%	219 (68)	5.6%	▲ 32.8%	▲ 1.5
乗物・乗物用品	153 (60)	2.6%	167 (53)	3.6%	169 (75)	4.3%	1.2%	0.7
身のまわり品	1252 (67)	21.0%	420 (40)	9.1%	229 (29)	5.9%	▲ 45.5%	▲ 3.2
保健衛生用品	119 (9)	2.0%	29 (5)	0.6%	120 (2)	3.1%	313.8%	▲ 2.5
レジャー用品	108 (12)	1.9%	108 (17)	2.4%	82 (17)	2.1%	▲ 24.1%	0.3
乳幼児用品	130 (4)	2.2%	128 (12)	2.8%	82 (6)	2.1%	▲ 35.9%	▲ 0.7
繊維製品	13 (1)	0.2%	28 (5)	0.6%	35 (2)	0.8%	25.0%	0.3
その他	2 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	-	0.0
合計	5,949 (1,102)	100.0%	4,590 (1,329)	100.0%	3,912 (1,150)	100.0%	▲14.8%	-

※：重複情報等を除く。括弧内件数は、経済産業省から重大製品事故情報として通知のあったものについて、NITEが収集対象とする事故情報を平成22年3月31日までに受け付けを行ったものであり、内数です。

平成21年度事故情報収集結果3

年度別に事故収集件数が多かった10品目

平成19年度 (事故情報収集件数 5,949件)			平成20年度 (事故情報収集 4,590件)			平成21年度 (事故情報収集件 3,912件)		
品目	件数	割合%	品目	件数	割合%	品目	件数	割合%
デスクマット	1,003 (38)	16.9	電気ストーブ	234 (60)	5.1	電子レンジ	355 (27)	9.1
ガスこんろ	423 (66)	7.1	ガスこんろ	232 (103)	5.1	ガスこんろ	154 (84)	3.9
電気ストーブ	321 (36)	5.4	ノートパソコン	139 (2)	3.0	電気ストーブ	154 (34)	3.9
石油ストーブ	205 (50)	3.4	石油給湯器	131 (40)	2.9	ガスふろがま	103 (25)	2.6
電気衣類乾燥機	179 (5)	3.0	石油ストーブ	110 (65)	2.4	テレビ (ブラウン管型)	97 (4)	2.5
ガスふろがま	126 (33)	2.1	カイロ ※種類問わず	99 (1)	2.2	まつげカーラー	97 (0)	2.5
配線器具	97 (2)	1.6	直流電源装置	94 (2)	2.0	配線器具	92 (2)	2.4
石油ふろがま	94 (44)	1.6	デスクマット	84 (0)	1.8	自転車 (対対車除く)	88 (33)	2.2
電気こんろ	89 (61)	1.5	エアコン	82 (58)	1.8	エアコン	85 (63)	2.2
エアコン	88 (55)	1.5	ガスふろがま	81 (22)	1.8	電気洗濯機 (乾燥機能付含む)	84 (44)	2.1
合計	2,625 (390)		合計	1,286 (353)		合計	1,309 (316)	

※:重複情報等を除く。括弧内件数は、経済産業省から重大製品事故情報として通知のあったものについて、NITEが収集対象とする事故情報を平成22年8月31日までに受け付けを行ったものであり、内数です。

事故情報調査結果1

事故原因別事故件数

事故原因区分		平成19年度	平成20年度	平成21年度	合計
非 重 大 製 品 事 故	製品に起因する事故	2,669	1,792	513	4,974
	A：専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	2,334	1,316	318	3,968
	B：製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	198	216	21	435
	C：製造後、長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの	137	82	44	263
	G3：製品起因であるが、その原因が不明なもの	-	178	130	308
	製品に起因しない事故	1,546	1,203	378	3,127
	D：業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	119	129	34	282
	E：専ら誤使用や不注意な使い方によると考えられるもの	1,276	854	271	2,401
	F：その他製品に起因しないと考えられるもの	151	220	73	444
	事故原因が判明しないもの	906	592	199	1,697
G1、G2：原因不明のもの	906	592	199	1,697	
非重大製品事故計		5,121	3,587	1,090	9,798
重 大 製 品 事 故	経済産業省が製品起因による事故と判断したもの	435	278	130	843
	経済産業省が事故原因が不明であると判断したもの	192	64	5	261
	重大製品事故計	627	342	135	1,104
小計		5,748	3,929	1,225	10,902
調査中		201	661	2,687	3,549
合計		5,949	4,590	3,912	14,451

※：重複情報等を除く。表に示す件数は、平成22年3月31日現在のものです。

事故情報調査結果2

製品区分別事故原因(平成21年度分)

事故原因 区分 製品区分	非重大製品事故											重大 製品事 故	合計
	製品に起因する事故					製品に起因しない 事故				原因 不明	非重大 製品事 故 計		
	A	B	C	G3	小計	D	E	F	小計	G1 G2			
家庭用電気製品	188	10	29	122	349	16	78	19	113	89	551	89	640
台所・食卓用品	9	3	4	1	17	0	16	0	16	41	74	2	76
燃焼器具	17	0	5	3	25	11	121	21	153	29	207	32	239
家具・住宅用品	23	2	0	0	25	3	18	25	46	6	77	2	79
乗物・乗物用品	11	0	2	2	15	4	14	2	20	10	45	5	50
身のまわり品	45	0	0	2	47	0	12	2	14	12	73	0	73
保健衛生用品	5	1	0	0	6	0	4	1	5	1	12	0	12
レジャー用品	15	4	4	0	23	0	6	2	8	7	38	3	41
乳幼児用品	3	1	0	0	4	0	2	1	3	4	11	2	13
繊維製品	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2
合計	318	21	44	130	513	34	271	73	378	199	1,090	135	1,225

※：表に示す件数は平成20年度に収集した重複等を除いた事故情報3,912件のうち、平成22年3月31日までにNITEにおける調査が終了し、事故原因が確定したもののや、重大製品事故情報のうち、経済産業省が重大製品事故として公表した1,225件に関するものです。

(事故原因区分)

- A：専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの。
 - B：製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの。
 - C：製造後長期間経過したり、長期間の使用により製品が劣化したもの。
 - G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの。(平成20年度より追加)
 - D：業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの。
 - E：専ら誤使用や不注意な使い方によると考えられるもの。
 - F：その他製品に起因しないと考えられるもの。
 - G1：原因不明のもの。(平成18年度、平成19年度にはG区分として記載)
 - G2：調査不明のもの。(平成18年度、平成19年度にはG区分として記載)
- 重大製品事故：重大製品事故のうち、経済産業省が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したもの。

事故情報調査結果3

「製品に起因する事故及び重大製品事故」の多い5品目

平成19年度 (3,296件)			平成20年度 (2,134件)			平成21年度 (648件)		
非重大製品事故(2,669件)			非重大製品事故(1,792件)			非重大製品事故(513件)		
品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%
デスクマット	965	36.3	ノートパソコン	133	7.4	配線器具	45	8.8
電気衣類乾燥機	171	6.4	カイロ	97	5.4	パソコン周辺機器(プリンタ等)	41	8.0
電気ストーブ	150	5.6	直流電源装置	88	4.9	デスクマット	31	6.1
サンダル	57	2.1	石油給湯器	87	4.9	テレビ(薄型)	21	4.1
草刈機	57	2.1	電気ストーブ	84	4.7	ノートパソコン	19	3.7
合計	1,400		合計	489		合計	157	
重大製品事故(627件)			重大製品事故(342件)			重大製品事故(135件)		
			品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%
			電気こんろ	36	10.4	石油給湯器	17	12.4
			エアコン	22	6.4	電子レンジ	15	10.9
			石油給湯器	20	5.8	石油ふろがま	13	9.5
			扇風機	19	5.5	エアコン	10	7.3
			石油ふろがま	18	5.2	電気こんろ	9	6.6
			合計	115		合計	64	

※：表に示す件数は、平成22年度3月31日現在のものです。重大製品事故とは、経済産業省に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものであり、非重大製品事故とは、それ以外のものです。

事故情報調査結果4

「誤使用や不注意による事故」の多い5品目

平成19年度 (1,276件)			平成20年度 (854件)			平成21年度 (271件)		
品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%	品目名	件数	割合%
ガスこんろ	361	28.3	ガスこんろ	178	20.8	ガスこんろ	51	18.8
石油ストーブ	145	11.4	石油ストーブ	67	7.8	ガスふろがま	21	7.7
電気ストーブ	82	6.4	電気ストーブ	34	4.0	ヘアドライヤー	9	3.3
石油ふろがま	28	3.8	電子レンジ	27	3.2	電動車いす	8	3.0
まきふろがま	27	3.1	ガスふろがま	25	2.9	片手なべ	8	3.0
合 計	643	50.4	合 計	331	38.8	合 計	97	35.8

※：表に示す件数は、平成22年度3月31日現在のものです。

事故情報調査結果5

事故原因別被害状況(平成21年度分)

事故原因		被害状況	人的被害				物的被害			被害無し	合計
			死亡	重傷	軽傷	小計	拡大被害	製品破損	小計		
非重大製品事故	製品に起因する事故	A	0	5	87	92	31	191	222	4	318
		B	0	1	11	12	1	8	9	0	21
		C	0	0	6	6	10	28	38	0	44
		G3	0	0	5	5	10	115	125	0	130
		小計	0	6	109	115	52	342	394	4	513
	製品に起因しない事故	D	1	0	10	11	10	13	23	0	34
		E	5	11	93	109	86	73	159	3	271
		F	3	4	11	18	13	38	51	4	73
		小計	9	15	114	138	109	124	233	7	378
	原因不明	G	2	0	73	75	37	82	119	5	199
非重大製品事故計			11	21	269	328	198	548	746	16	1,090
重大製品事故			1	14	9	24	57	54	111	0	135
合計			12	35	305	352	255	602	857	16	1,225

※：表に示す件数は平成21年度に収集した事故情報3,912件のうち、平成22年3月31日までにNITEにおける調査が終了し、事故原因が確定したものや、重大製品事故情報のうち、経済産業省が重大製品事故として公表した1,225件に関するものです。

社告・リコール情報収集件数

製品区分	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	件数及び割合	件数及び割合	件数及び割合	件数及び割合	件数及び割合	件数及び割合
家庭用電気製品	92 件	45.8%	100 件	48.5%	69 件	48.3%
台所・食卓用品	7 件	3.5%	10 件	4.9%	2 件	1.4%
燃焼器具	25 件	12.4%	8 件	3.9%	7 件	4.9%
家具・住宅用品	17 件	8.5%	15 件	7.3%	14 件	9.8%
乗物・乗物用品	11 件	5.5%	16 件	7.8%	4 件	2.8%
身のまわり品	22 件	10.9%	25 件	12.1%	19 件	13.3%
保健衛生用品	7 件	3.5%	2 件	0.9%	2 件	1.4%
レジャー用品	10 件	5.0%	4 件	1.9%	7 件	4.9%
乳幼児用品	6 件	3.0%	10 件	4.9%	12 件	8.4%
繊維製品	4 件	1.9%	13 件	6.3%	6 件	4.2%
その他	0 件	0.0%	3 件	1.5%	1 件	0.6%
合 計	201 件	100.0%	206 件	100.0%	143 件	100.0%

※：本表の件数は、平成22年3月31日の再社告・リコール件数です。ただし、石油温風暖房機、ガス瞬間湯沸器、扇風機など重大製品事故が発生し、定期的な社告等を行っているものについては、その再社告・リコール件数は含みません。

詳細については、社告・リコールの検索：<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

IV. 平成21年度事故事例及び行政反映事例

- 注目・多発事故事例**
- 事故原因究明結果等の行政反映事例**

注目・多発事件事例(平成21年度分)1

① ヘアドライヤー

(事故内容)

ヘアドライヤーのスイッチ部分から発煙、発火した。

(事故原因)

当該製品の『OFF—弱—強』を切り替えるスライド式スイッチが、各切り替え接点位置で固定しない設計であったため、『OFF—弱』の中間位置で使用された際、『弱』の接点が接触不良状態となり、アーク放電が生じ周囲のスイッチ樹脂から発煙したものと推定される。

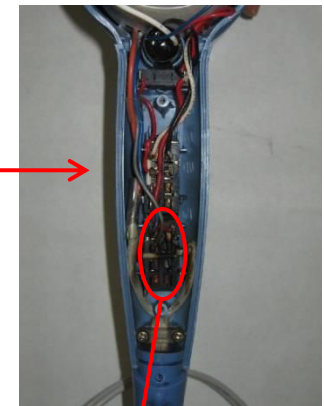
(講じられた再発防止措置)

スイッチ内部の発煙で終息し拡大被害に至っていないことから、今後の事故状況を注視し、必要に応じて対応することとした。

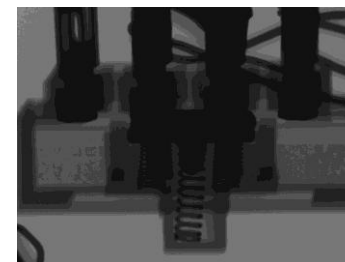
なお、2008(平成20)年7月生産分から、スイッチを各切り替え位置で固定するタイプのものに変更している。



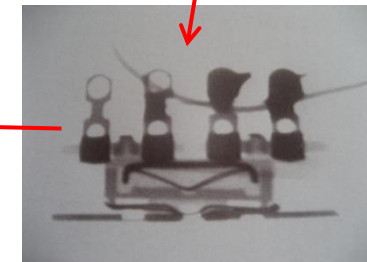
事故品



OFF—弱—強
スイッチ



改良品



事故品

注目・多発事件事例(平成21年度分)2

② ベビーカー

(事故内容)

ベビーカーを開く際に、当該製品のヒンジ部に幼児の指が挟まり重傷を負った。

(事故原因)

折りたたみ式の当該製品のヒンジ部が当該製品を開閉する際に指が挟み込まれる可能性がある構造であったこと及び当該製品を開く際に幼児が当該ヒンジ部分に手を掛けていることに気付かず開いたためと推定される。

(講じられた再発防止措置)

N社が輸入した製品については、同社が平成21年11月16日にホームページに掲載し、注意喚起を行うとともに、ヒンジ部分をカバーする部品の無償配布を実施している。



ヒンジ部分



ヒンジ部分のカバー

注目・多発事件事例(平成21年度分)3

③ 自転車

(事故内容)

走行中の自転車のハンドルが急に重くなって転倒しそうになり、腰と頸部を捻挫した。

(事故原因)

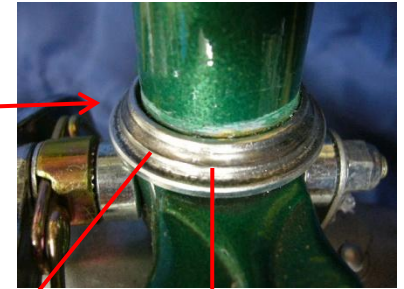
ヘッドパイプの上下に組み込まれているベアリング部にグリスが充填されていなかった等の原因により、鋼球の回転不良が生じて鋼球の保持器が破損し、ハンドルが急に重くなったものと推定される。

(講じられた再発防止措置)

2009(平成21)年5月26日付けで店頭及びホームページに社告を掲載し、回収を行うとともに、購入者に連絡を取っている。



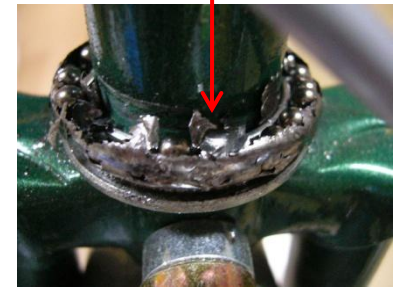
事故品



ヘッドパイプ部



ベアリング部



注目・多発事故事例(平成21年度分)4

④ 電子レンジ

(事故内容)

電子レンジを使用中、異音とともに発煙・発火し、当該製品及び周辺が焼損した。

(事故原因)

当該製品の内部部品(ダイオードブリッジ)の製造上のばらつきにより、当該製品の吸気口が埃等でふさがったまま使用を続けると、部品内部のはんだ部の劣化が進み、はんだクラックが生じ、スパークが発生し、発煙・発火に至ったものと推定される。

(講じられた再発防止措置)

平成19年5月31日に新聞社告を掲載し、その後、平成21年7月に量販店の顧客情報を活用したダイレクトメールの送付、平成21年9月に新聞折り込みチラシの配布等を通じて、注意喚起を行うとともに対象製品について、無償改修を実施している。



事故品の外観



事故品後部の吸気口



事故品のダイオードブリッジと基板



事故原因究明結果等の行政反映事例(平成21年度分)

電気用品安全法

製品名	事故事例等	行政施策反映事例
電気ストーブ	電気ストーブの使用により、揮発性化学物質放散による頭痛や気分が悪くなる事故が発生	技術基準の改正：揮発性化学物質（VOC）に対する試験方法及び基準を新たに規定
電気ストーブ	並列使用されたヒーター出力の強弱制御用の整流素子（ダイオード）の不具合によって発火する事故が多発発生	技術基準の改正：並列使用する電力調整用ダイオードの容量及び異常温度上昇を新たに規定
電気ストーブ等	自動首振り部の内配線線の屈曲耐久性不足により発火する事故が多発発生	技術基準の改正：曲げ試験回数を使用実態に応じた回数に変更
複写機等	電源コードの抜き差しにより機器用差し込み部（インレット）にストレスが加わり、はんだクラックが生じて発煙・発火する事故が多発発生	技術基準の改正：機器用インレットのはんだ付け部に機械通電力が加わらない構造を新たに規定
エアコン(室外機)等	大電力回路を有する製品のプリント基板から発火する事故が多発発生	技術基準の改正：エアコン(室外機)等一定電流を超えるプリント基板の難燃化を新たに規定
照明器具	照明器具の安定器の巻線表面の絶縁物が経年劣化により絶縁劣化し発煙・発火する指呼が多発発生	技術基準の改正：照明器具に使用される銅線式安定器に耐火性を新たに規定
電気洗濯機等	電気機器用コンデンサの不良により内配線の酸化が進行して設計以上の電気抵抗が生じ発煙・発火する事故が多発発生	技術基準の改正：消費電力が比較的大きい製品のコンデンサを保安装置内蔵又は保安機構付きとすることを新たに規定
電気冷蔵庫等	電源プラグがコンセントに長期間差し込まれたままの状態でもトラッキング現象により発火する事故が多発発生	技術基準の改正：電気冷蔵庫、冷凍庫の電源プラグに耐トラッキング性能を新たに規定
電気洗濯機	脱水槽の回転が完全に停止する前に手を入れたため指を切断する事故が多発発生	技術基準の改正：脱水機能を有する電気洗濯機、電気脱水機全体に対して産ロック機構の整備を新たに規定
浴室電気乾燥機	電源電線と屋内配線を手より接続等の不適切な接続をすることで発火する事故が多発発生	技術基準の改正：接続方式を連結端子等を用いる方法とすることを新たに規定
扇風機/エアコン/換気扇/洗濯機/ブラウン管テレビ	扇風機等長期使用によって出火する事故が多発発生	技術基準の改正：設計上の標準使用期間及び経年劣化についての注意喚起の表示を新たに規定

電熱シート	保温性の高い布団等を床に置いた状態で長時間使用したため、電熱シートの一部が異常過熱する事故が多発発生	技術基準の改正：実際の施工状態を模擬した試験構造物を用いた温度上昇試験等を新たに規定
電気掃除機	使用中の電気掃除機の差込みプラグ付近から火花が発生して発煙し、プラグを抜こうとした際に軽いやけどを負う事故が多発発生	政令の改正：電気掃除機の規制の上限値である消費電力1000Wを一般家庭用のものに限り廃止するよう政令を改正

消費生活用製品安全法

製品名	事故事例等	行政施策反映事例
屋内式ガス瞬間燃焼器(都市ガス用、LPガス用)/屋内式ガスバーナー付ふるがま(都市ガス用、LPガス用)/石油給湯機/石油ふるがま/密閉燃焼式(FF)式石油温風暖房機/ビルトイン式電気食器洗機/浴室用電気乾燥機/ガス給湯暖房機	FF式石油ストーブ等長期使用による一酸化炭素中毒で死亡する事故等が多発発生	法改正：長期使用製品安全点検制度の品目として新たに品目追加

薬事法

製品名	事故事例等	行政施策反映事例
カラーコンタクトレンズ	カラーコンタクトレンズを装着して炎症等による視力低下する事故が多発発生	政令改正：度付でないおしゃれ用カラーコンタクトレンズを新たに品目追加

日本工業規格(JIS)

製品名	事故事例等	行政施策反映事例
サイドレール	サイドレールのすき間で指が挟まり死亡する事故が多発発生	JIS改正：サイドレール同士、ベッド用手すりやヘッドボード等の隙間に対する試験方法を改正
電動車いす	果車中に轢石に乗り上げ転倒、又は肩に轢れし死傷する事故が多発発生	JIS改正：手押し走行装置及び動的安定性能の表示を新たに規定

Ⅲ. N I T Eホームページによる公表

- 事故情報データベース<検索>
- 注意喚起ちらし
- ミニポスター（動画付き）
- 製品安全情報マガジン配信登録の
お願い

事故情報データベース〈検索〉

http://www.jiko.nite.go.jp/php/jiko/search/index.php

事故情報の検索画面

個別事故情報詳細画面

HOME > 製品安全・事故情報 > 事故情報の検索トップ > 事故情報の検索

事故情報の検索

事故情報データベース検索の手引き

- ・平成8年度(1996年度)以降に収集したデータが保存されています。
- ・キーワード、検索項目、選択肢等の検索条件により絞り込み検索が可能です。

※年度番号(管理番号)が「A2007XXXX」となっているものは、経済産業省に報告された重大製品事故です。

キーワード	検索項目	選択肢
1 ガスこんろ	を 品名	に 含む
2 E	を 原因区分コード	に 含む
3	を 指定なし	に 含む

● キーワード条件

● 条件

1・2・3全てを満たしているもの

● 全角/半角

区別しない 区別する

※別紙に品名一覧を示しますので、検索の際にご参照下さい。

Copyright 2002 - 2010 (C) National Institute of Technology and Evaluation All rights reserved.

HOME > 製品安全・事故情報 > 事故情報の検索トップ > 事故情報の検索 > 事故情報の検索結果 > 事故情報詳細

事故原因区分の定義について

※検索結果一覧へは『事故情報の検索結果』で戻ります。

事故情報詳細

事故発生日	2009/06/02
年度番号	A200900241
品目	03 燃焼器具
品名	ガスこんろ (LPガス用)
事故通知者	経済産業省 非重大製品事故(2009-0912)
事故通知内容	当該製品及び周辺を焼損させる火災が発生した。(事故発生地:北海道)
被害の種類	11.火災
事故原因	当該製品のバーナーの火を消し忘れたため、当該製品周囲にあった可燃物に引火したものと判断した。
原因区分	E2

※別紙に品名一覧を示しますので、検索の際にご参照下さい。

Copyright 2002 - 2010 (C) National Institute of Technology and Evaluation All rights reserved.

ホームページによる公表 注意喚起ちらし

・注意喚起ちらし

<http://www.nite.go.jp/jiko/chirashi/chirashi.html>

事故情報の中から、実際に起こった事故事例と事故防止のポイントをわかりやすく説明したちらしです。ご自由に利用してください。

リコールなど注意を呼びかけています。(No.12) 事故^{ナイト} いいね

<p>無償修理 お知らせセランプの焼損</p> <p>電動アシスト付き自転車 ラクーン UB01+105973+105973L UB02+1012826 +104359, ラクーンX UB03+1000001+1000513 ラクーン UB04+1000001+105510, UB05+1000001 +1055475, UB06+1000001+1023118 ラクーンコンポ UB07+1000001+1015731, UB07+1100001+1101500 ラクーン UB08+1000001+1016482, UB09+1000001+ 1007021 1995年5月18日～2004年8月9日(販売)</p> <p>本田技研工業㈱ 0120-086-819 9:00～12:00, 13:00～17:00</p>	<p>点検修理 座面が落下</p> <p>木製回転イス ・リック4 LBR ・リック4 MBR 2004年9月16日～ 2006年9月30日(販売)</p> <p>㈱ニトリ 0120-209-993 10:00～18:00</p>
<p>初期点検 再度交換 部品 ガス漏れで焼損</p> <p>電子ジャー付ガス炊飯器『αかまど炊き』 リンナイ RR-G5MRT/10MRT/10MRT(A)/10MRT(A)/S10MRT/ S10MRT 東洋ガス RAJ-SMTK/7MTK/10MTK 大阪ガス 111-5010A/5014A/5020A/RS20/RS22/RS20A/RS21A/RS22A 東亜ガス RH-410TA-MC/RH-414TA-MC/RH-420TA-MC 2005年8月1日～2009年8月上旬(製造)</p> <p>リンナイ㈱・東野ガス㈱ 大阪ガス㈱ 東亜ガス㈱ 0120-478-111 9:00～19:00(月～土) 0120-471-699 9:00～17:00(月～土, 祝除く) 9:00～17:00(日・祝) 9:00～17:00(月～金, 祝除く)</p>	
<p>無償交換 ロック解除でけが</p> <p>ベビーカー(ベビーカー) コンパクト(ターパニエ) 対角ロック1001△△×× (上4桁)1003△△×× (JANコード4973655 936672) 2009年10月～ 2010年5月(販売)</p> <p>リベラ シエスタ ブラウン(BR)(JANコード4973655 409817) レッド(R)(4973655 408831) エラ(4973655 936699) マルシェ ローズビコム(P)(4973655 404119) ブルンエル(B)(4963655 404120) 2009年10月～2010年6月(販売)</p> <p>㈱リッチェル 0120-78-3191 9:00～17:00(月～金, 祝除く)</p>	

nite-製品安全センター

- ・電動アシスト付き自転車
- ・木製回転イス
- ・電子ジャー付ガス炊飯器
- ・ベビーカー

こんな事故にもご用心 (No.13) 事故^{ナイト} いいね

「花火」は、遊び方や注意事項を守ってください

幼児が花火でやけど
 焼が持っていた花火に1歳の幼児が手を触れたところ、突然筒が炸れて火花が散ったために、幼児が顔と胸元にやけどを負った。(平成21年5月 販売)

飛んできた花火で目にケガ
 花火についたら、火花が顔の真ん中に飛び入り、眼を刺した。(平成20年8月 販売)

花火は子どもだけでしないでください。必ず大人の手を借りてください。また、取扱説明書をよく読んで、遊び方の注意事項を守ってください。万が一のとき、消火できるようにバケツなどを用意しましょう。

長期間使用のエアコンで火災
 NITEには、10年を超えて使用していたエアコンの事故が報告されています。エアコンに次のような状態がある場合は、すぐに使用を中止して製造メーカーに相談してください。
 ①電源コードやプラグが熱い、定電圧プラグが変色している、空っぽくさいにおいがする。②ブレーカーが跳ねる。③室内機から異音が出る。④室外機の下り管等の取付部が腐食していたり、取付ゆるんでいる。

草刈機があたって死亡
 草刈機が近くにいる人にあたっ死亡した人がある。死亡した。平成20年6月 販売

ガスボンベが爆発してやけど
 互換を収納したまま使用していたため、フライパンの底とコンロが接触し、ガスボンベが加熱され、コンロ全体が過熱して、ボンベが爆発した。

互換は正しく設置してください。また、ガスボンベを扱うような大きな作業は必ず慎重に行ってください。また、必ず取扱説明書をよく読んでください。

このマークは、取り扱いに誤った場合、重大な被害を及ぼすことが予想されますので注意をお願いします。

nite-製品安全センター

- ・花火によるやけど
- ・長期間使用のエアコンで火災
- ・草刈機による事故など

リコールなど注意を呼びかけています(12)

こんな事故にもご用心(13)

ホームページによる公表 ミニポスター

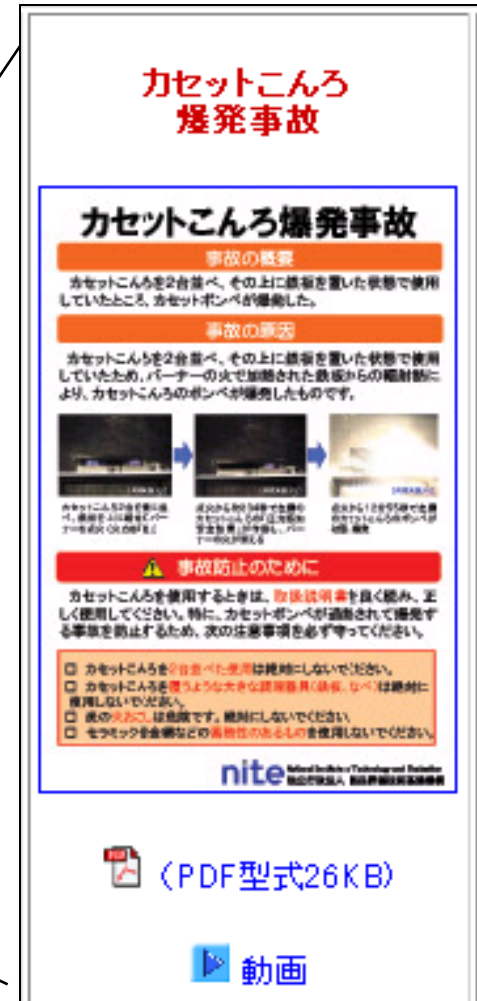
ミニポスター(動画付き)

<http://www.nite.go.jp/jiko/poster/poster.html>

事故情報の中から、実際に起こった事故事例と事故防止のポイントをわかりやすく説明したポスター及び動画です。ご自由に利用してください。



電気こんろによる火災 / IHこんろでの天ぷら火災/カセットこんろ爆発事故



製品安全情報マガジン(PSマガジン)配信登録のお願い

最新情報の製品事故情報を毎月第2・第4火曜日にお手元にお届けします。
最近出された社告・リコール情報を掲載。ご紹介したアドレスをアクセスすると詳しいリコール情報をご覧いただけます。
お持ちの製品をチェックして、事故の未然防止にご活用ください。

ご登録方法

配信のご登録は
製品安全情報マガジンの
ホームページから
お申し込み下さい。

アドレス

<http://www.nite.go.jp/jiko/psm/>

又は、

NITE>

生活安全分野GO>

製品安全・事故情報>

製品安全情報マガジン

のページ

製品安全情報マガジンのホームページ

製品安全情報マガジン (PSマガジン)

製品評価技術基盤機構(NITE)では、NITEに集約される製品安全に関する情報を製品事故の未然・再発防止の観点から、製品安全情報マガジン(PSマガジン)によってタイムリーに提供しています。



新規に配信を希望される方はこちらから登録を行ってください。

登録変更

登録内容の確認・変更
はこちらから※

登録解除

メール配信の停止を希望される方は、こちらから登録の解除を行ってください。※

パスワード
再発行

パスワードを忘れた方は、こちらから再発行を行ってください。

バックナンバー

- [Vol. 108 10月28日号「電気ストーブによる事故」](#)
- [Vol. 107 10月14日号「養生シートによる事故」](#)
- [Vol. 106 9月30日号「介護用品による事故」](#)
- [Vol. 105 9月16日号「フードミキサーによる事故」](#)

事故 ナイト いいね

<http://www.jiko.nite.go.jp/>

安心を未来につなぐナイトです。

nite National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構